市岡小学校110年のあゆみ

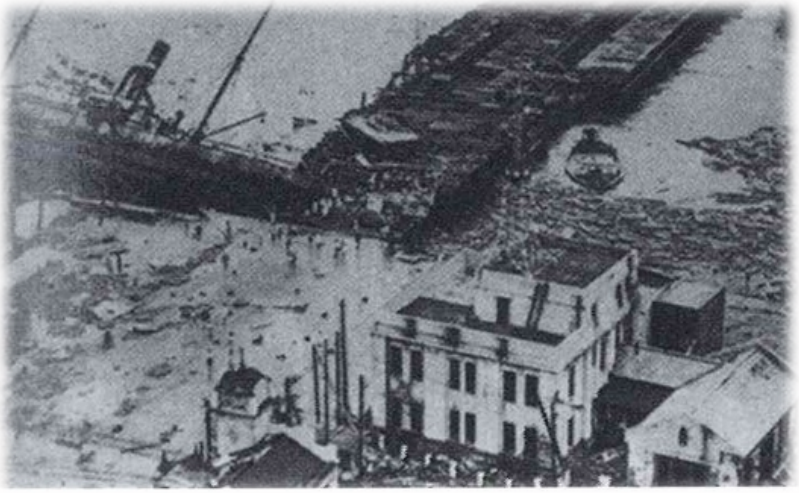
1934～1938

大きな被害をもたらした室戸台風



室戸台風

1934年（昭和9年）9月21日午前5時、台風の通過に伴い、室戸岬では最低気圧が684mmHgまで低下しました。午前8時には大阪でも風速29.8m/sの暴風が吹き荒れ、測候所の風力計が吹き飛ばされました。当時の最大瞬間風速は60m/sに達するという、未曽有の記録となりました。そのうえ、大阪湾の水位が急激に上昇し、高潮が襲来。甚大な被害をもたらしました。



▲室戸台風で流された築港大さん橋



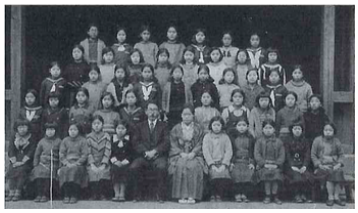
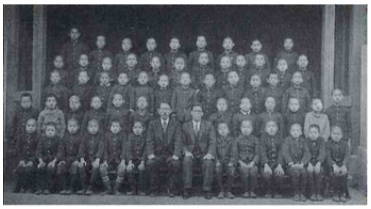
▲鉄筋校舎の大阪市市岡第二尋常高等小学校

鉄筋校舎

室戸台風により港区の全校が浸水し、137教室を喪失した。児童・職員にも多数の負傷者を出したが、幸い死亡者はなかった。この災禍の経験による復興計画により、木造校舎が鉄筋コンクリート造りへと改築された。

（『港区誌』より）



▲1936年の市岡第二尋常高等小学校　卒業記念写真帖より

できごと

1934年（昭和9年）	室戸台風、大阪を襲撃。 本校では児童に被害はなかったが、校舎が浸水する。そのため22教室を取り壊す。
1935年（昭和10年）	バラック建18教室を新設。 磯路分校として、磯路３丁目に仮教室４教室を設ける。高等科１年206名を収容する。
1936年（昭和11年）	講堂を仮間仕切りする。 6教室校長室 起工中の桃谷（順天館）裏にバラック建仮校舎を建てる。１・２年６学級を収容。
1937年（昭和12年）	市岡分校に4教室を増築。 新校舎の一部竣工。 12月16日より尋常科全学年新校舎へ。高等科1年は磯路分校へ、2年は東田中分校を借り受け収容。同時に桃谷裏バラック建仮校舎は市に回収される。
1938年（昭和13年）	第2期改築工事竣工。 改築落成式を挙行。